



平成 21 年 11 月 11 日

各 位

オメガプロジェクト・ホールディングス株式会社
代表取締役社長 近藤 宜彰
(コード番号 6819)
問い合わせ先
専務取締役 村上 東 哲
電話番号 03-3493-3080

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成21年11月11日開催の取締役会において、下記のとおり特別損失を計上するとともに、最近の業績の動向を踏まえ、平成21年5月20日に発表いたしました平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の第2四半期及び通期業績予想（連結・個別）を修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生について

当社グループを取り巻く経営環境は、従前からの世界経済の悪化の一部に回復の兆しが見られるものの、依然として不安定かつ厳しい状況下にあります。この度、当社会計監査人との協議の下、リスク管理の厳格化に基づき当社グループの資産状況及び事業進捗・財務状況をより厳密に精査した結果、以下の特別損失を計上いたします。

(1) 関係会社株式評価損【個別】

当社グループ会社の財務状況及び業績悪化等を精査した結果、関係会社株式評価損として104百万円を計上いたします。

(2) 貸倒引当金繰入損【連結】

当社グループ会社による取引先への転換社債の回収可能性について厳密に精査した結果、相手先の業績悪化等を勘案し、貸倒引当金繰入損として58百万円を計上いたします。

これらの影響により、個別で104百万円、連結で58百万円を特別損失として計上いたします。

2. 連結業績予想の修正

(1) 第2四半期累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回予想（A）	1,740	11	10	10
今回修正（B）	1,638	△18	△8	△50
増減額（B－A）	△102	△29	△18	△60
増減率（%）	△5.9	－	－	－
（ご参考） 平成21年3月期第2四半期実績	1,640	△267	△229	△1,143

(2) 修正理由

当第2四半期累計期間の売上高におきましては、レジャー事業において冷夏による影響があったものの、9月における大型連休や、様々なイベントの開催等により、順調に入園者数及び売上を伸ばしましたが、映像・音盤関連事業のうち、映像制作の受注数及び受注高が当初予想よりも減少いたしました。

利益面におきましては、売上高減少に伴い当初予想より、営業利益は29百万円、経常利益は18百万円減少する見込みです。また、当期純利益につきましては、これらの理由に加え、前述1に記載の特別損失（58百万円）の発生により、予想金額よりも60百万円減少する見込みです。

(3) 通期累計期間（平成21年4月1日～平成22年3月31日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	3,260	16	15	15
今回修正（B）	3,100	△50	△30	△71
増減額（B－A）	△160	△66	△45	△86
増減率（%）	△4.9	－	－	－
（ご参考） 平成21年3月期実績	3,079	△597	△522	△1,772

(4) 修正理由

通期の業績予想につきましては、第2四半期の業績の状況を踏まえ引き続き厳しい経営環境となることが予想されることや、レジャー事業において、下期にかけ新型インフルエンザの影響による入園者数減少が見込まれること等により、売上高の減少が予想されることから、営業利益は66百万円減少、経常利益は45百万円、当期純利益は86百万円減少する見込みです。

3. 個別業績予想の修正

(1) 第2四半期累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回予想（A）	130	5	6	5
今回修正（B）	123	△72	△52	△141
増減額（B－A）	△7	△77	△58	△146
増減率（%）	△5.4	－	－	－
（ご参考） 平成21年3月期第2四半期実績	187	△222	△203	△1,018

(2) 修正理由

当社個別における第2四半期累計期間におきましては、保有資産の整理のため、従前より保有しておりました営業用投資有価証券の売却において、株式市場の低迷により、売上高が減少いたしました。

また、販売費及び一般管理費については、登記費用等の管理費が当初見込みより増加いたしました。これらの影響により当初予想より営業利益は77百万円、経常利益は58百万円減少する見込みです。また、四半期純利益におきましては、上記理由に加え、前述1に記載の特別損失（104百万円）の発生により当初予想より146百万円減少する見込みです。

(3) 通期累計期間（平成21年4月1日～平成22年3月31日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	260	10	11	10
今回修正（B）	250	△140	△110	△210
増減額（B－A）	△10	△150	△121	△220
増減率（%）	△3.8	－	－	－
（ご参考） 平成21年3月期実績	351	△415	△363	△1,773

(4) 修正理由

通期の業績予想につきましては、第2四半期の業績の状況を踏まえ引き続き厳しい経営環境となることが予想されることや、上記（2）修正理由において発生しました販売費及び一般管理費の計上が引き続き予想されることから、営業利益は150百万円減少、経常利益は121百万円、当期純利益は220百万円減少する見込みです。

※ 今回の業績予想修正値は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した数値であり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

以 上